
Food Defense is Good Business!

第 10 回

フードディフェンスセミナーのお知らせ



一般社団法人 日本パン技術研究所 主催

昨年の食品取扱い現場での従業員のいたずら写真が SNS に投稿された問題や、食品企業の従業員が製品へ意図的に農薬を混入させる事態など、日本国内での「食品テロ」のリスクはこれまで以上に身近なものとなっており、より有効なフードディフェンスへの取り組みが求められています。また、米国で 2011 年 1 月に米国食品安全強化法(Food Safety Modernization Act)が成立し、2016 年 5 月には意図的な食品不良事故防止等に係る最終規則が公表されたことにより、米国内の食品企業のみならず米国に食品や食品原材料を輸出する海外の企業に対しても、フードディフェンスを含む食品安全管理のレベルアップが要求されております。更に、当研究所が実施する AIB フードセーフティ監査システムにおいても、フードディフェンスプログラムの構築と脆弱性の評価が必須事項として取り扱われ、FSSC22000、JFS-B、JFS-C などの様々な食品安全規格でもフードディフェンスの要求事項が盛り込まれていることから、フードディフェンスへの取り組みの必要性が世界的に高まっていると言えます。

偶発的に発生する環境由来の原因を未然に防ぐことを目的とした「フードセーフティ」とは異なり、「フードディフェンス」の目的は悪意をもって意図的、攻撃的に行われる行為を防御することにあります。これらの行為を事前に予測できないことが対応を難しくしている要因となっています。このような理由からフードディフェンスを有効に機能させるには、適切な知識を持った従業員がフードディフェンスの目的や方法、緊急時の対応などについて理解し、事態発生時に的確に対応できるよう日ごろから備えておく必要があるのです。

皆様に最新のフードディフェンスプログラムの着眼点や正しい構築方法を理解していただくため、経験豊富な AIB 監査員が講師となるフードディフェンスセミナーを開催いたします。本セミナーは、食品工場における実現可能で効果的なフードディフェンスプログラムの構築を目的としております。また、FSMA や FSSC22000 などの国際的なフードディフェンスの要求事項にも対応可能です。

AIB フードセーフティ監査システムをご利用いただいている企業様はもちろん、FSSC22000 を食品安全マネジメントシステムの主体として取り入れていらっしゃる企業様も含めて、食品製造に関わる幅広い業種、職種の皆様からのご参加をお待ちしております。

第 10 回 フードディフェンスセミナー

※お申込みの受付は7月上旬より行います。

日 程 : 2025年8月22日(金) 1日間

時 間 : 9:00～17:30 (受付8:20より)

費 用 : (当研究所会員) ¥27,500 (非会員) ¥33,000 消費税込

会 場 : 一般社団法人日本パン技術研究所 6階講義室
別面に地図がございます。

定 員 : 70名(定員になり次第申し込みを締め切らせていただきますので、お早めにお申込みください)



予定プログラム



- ・ フードディフェンスの基礎
- ・ フードディフェンスガイドライン
- ・ 脆弱性の評価と主要な活動タイプ (Key Activity Types)
- ・ フードディフェンスプラン(フードディフェンスモニタリング、フードディフェンス是正処
置、フードディフェンス検証)
ワークショップ

※当日のプログラムは変更になる場合がございます。予めご了承ください。

お申込み方法：

ホームページのセミナー案内ページの申し込みフォームからお申し込みください。

受付開始：2025年7月上旬予定

https://www.jibt.com/news_aib/?c=20002

お支払い方法：

お申込み後一週間以内に確認のメールをお送りします。受講費用のお支払金額と振込先が記載されていますので、指定の期日までにお手続きください。

*** 指定の期日までにご入金がない場合は、正式のお申込みとして受理されませんのでご注意ください。**

* 受講料入金確認後に受講者ご本人あて最終案内のメールをお送りします。

* 万ーキャンセルされた場合でも、ご入金いただいた費用の返金はできません（別の方の受講をお願い致します）。

お問い合わせ先：フードセーフティ事業部

TEL：03-5659-5081 foodsafety@jibt.com

【会場のご案内】

住所：〒134-0088 東京都江戸川区西葛西6丁目19-6 パン科学会館 6階

東京メトロ東西線「西葛西駅」より徒歩約5分（下記地図参照）

